



COCKPIT21 SETAGAYA
弘山康直さん

使用状況にもよりますが、レスポンスやパワー感に満足される方が多いです。ニューテックは異なる粘度をブレンドすることも可能ですので、気軽に相談してください



日本オイルサービス
山崎健之さん

もともとエステル系のエンジンオイルはジェットエンジン用に開発されたものです。そのため高負荷に耐えられ、100%化学合成油のなかでも高い性能を持っているのが特徴です



価格：NC-50：2520円/1ℓ NC-51：2520円/1ℓ

吹き上がりが軽くなった、トルクがアップした、エンジンが静かになったなど
その効果はBMWオーナーにも口コミで広がっているというニューテック・オイル。
オイルだけで体感できるほどの差が出るのか、その理由はどこにあるのか？ ニューテック・インターセプターの
秘密に迫るため、BMWオーナーも数多く訪れるという、コクピット21世田谷に向かった！

超微粒子構造きょうじんがもたらす強靱な保護性能と低フリクション

BMWユーザーのあいだではかなり有名なオイル、ニューテック。しかしそれでも、「聞いたことがない」という人はいるだろう。それは当然で、このオイルは限られたショップでしか扱われていないため、実際に目にする機会が少ないのだ。

取り扱いショップに限られるという、なんとなくプレミアムな雰囲気を持つオイルだが、その性能はうわさどおりだった。何よりもまず、エンジンオイル開発の発想からして違う。一般的な高性能オイルはベースオイルに各種の添加剤をブレンドしていくことで性能アップを図るが、ニューテックはベースオイル自体の性能を上げることで、高性能化を達成。ベースオイルの性能が高いということは、性能アップを添加剤に依存する必要がないということで、オイル自体の劣化が進みにくく、高温・高負荷といった悪条件でも優れた性能を維持してくれるのだ。

ニューテック・オイルの分子構造は、従来オイルの10分の1という超微粒子。そのため、高温・高負荷でもせん断性能や熱伝導性、局圧性に優れているという。また、超微粒子構造のため金属表面に吸着しやすく、高シール性を発揮してくれる。さらに超微粒子効果は、オイルがスムーズに動けるという点で、フリクション低減に役立つのだ。

高いせん断性能や高シール性を持つということは、粘度を下げても油膜が切れにくいということになる。つまり、低粘度オイルらしい、

レスポンスのよさや燃費の向上が期待できるのだ。BMWのユーザーはエンジンフィールにこだわりを持つ人が多いから、人気になるのはうなずける。

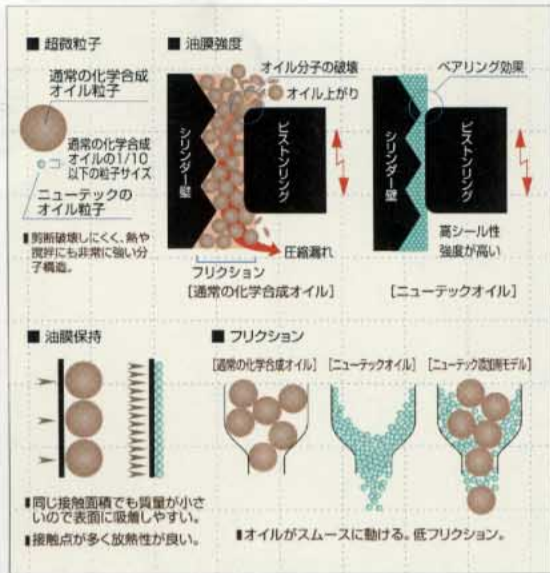
ニューテックのオイルを扱うショップに、ここコクピット21世田谷がある。メカニックの弘山康直さんは、レスポンスやパワー感に不満がある人はぜひニューテックを使ってほしいと話す。なお、BMWにこのオイルを入れたユーザーからは、レスポンスアップやパワー感の向上以外にも、「音が静かになった」と言われたこともあるそうだ。そこで実際に'02モデルの318iに入れてみた。

交換後、エンジンを始動して気づいたのは、やはりエンジン音。交換前より明らかに静かになっている。また、低回転域でのトルクが増している感じがする。これらはフリクションの低さ、潤滑性能の高さを示していると言っていいだろう。

BMWエンジンはバルブトロニックやダブルVANOSといった高度なメカを備えるからこそ、それを生かすニューテックのような高性能オイルが似合うのだ。

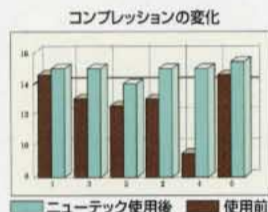
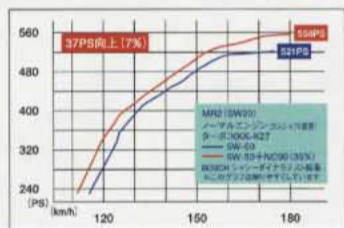
NUTEC Inter Ceptor NC-50&51

©ニューテック・ジャパン ☎045-929-1610
<http://www.nutec-japan.com/>
text:丸山 誠 photo:永田正男/佐藤正巳



NUTEC OIL 高性能の秘密!

エステル系オイルであるニューテックの最大の特徴は、その超微粒子分子構造にある。せん断性能やシール性の高さにより、低粘度でも油膜切れを起こすことがないのだ。しかもこのニューテック、2輪、4輪両方のレースでも使われているが、なんとレースオイルも商品をそのまま使っているという。そう、耐久性も保証付きなのだ



これはチューニングされたMR2でのパワーチェックのグラフだが、ノーマルエンジンでもパワーアップは実感できるという



オーナー試乗 オイル交換後、 ここが変わった!

街なかの遅い流れ、だいたい20~30km/hで走っているときから、交換した効果は表れた。今まではシフトダウンしようか、それともそのままアクセルを踏み込もうか悩む場面があったけれど、今は1速上のギヤでも苦もなく走ることができる。ひと言で言えば、「低速、低回転域からの加速が鋭くなった」感じた。オイルの粘度を下げた

ことによるレスポンスアップだけでは、ここまで変わらないと思うのだが……。
高回転まで回したときは、音、スムーズさともに性能アップ。1つ不思議なのは、金属同士がエンジン内で擦れ合っているのかわかるような、ややザラッとした感触が感じられるようになったこと。もちろん、実際に回転がざらついているのではなく、回転自体はシフトアップを忘れるくらいスムーズなもの。ピストンの摩擦を感じる、と言ったらオーバーだが、今まで音や振動で消されていた微細な感触が、わずかなエンジンノイズやフィールを通して伝わるようになったのではないと思う。
オイル交換からおおよそ1000kmほど走ったが、おおよそ9km/lと、燃費はほとんど変わっていない。エンジン回転のフィーリングやレスポンスの変化をチェックした1000kmだから、悪化しないだけでもびっくりだが、燃費を向上させるためには、気持ちのいいアクセルレスポンスをコントロールする“自制心”が必要になりそうだ。

コクピット21世田谷は、輸入車中心のパーツ&メンテナンスショップ。専門知識の豊富なスタッフばかりなので、クルマの使い方に合わせたアイテムを提案してくれる。ニューテック・インターセプターの扱い実績も多いから、興味を持ったら一度、訪れてみてほしい



テスト車両は'02年モデルの318iセダン。これまでに約6000kmを走行したが、オイル交換は今回が初めてだ。ちなみにニューテックオイルは、街乗りユースならフィーリングが悪くなったと感じるようになったときが交換タイミングだという



初めてのオイル交換なので、フィルターも同時に交換した。使用量は4.5ℓ弱。1ℓ単位で買えるNC-50&51はこんなときに便利だ

さずかに入っていたオイルはかなり劣化していた。これがニューテックだと、フィーリングがどう変わるか楽しみだ



BMWユーザーのなかには、ニューテックを自分好みにブレンドして使っている人も多いという。今回は10W30と10W50をほぼ50:50でブレンドして使用することにした。使用状況に応じてオイルを作れるというのも楽しみの1つと言える



初めてニューテックを入れると、エンジン内の汚れが落ち、距離を走らなくてもオイルが汚れるが、品質上は問題ないとのことだ



ボトルからオイルジョッキに垂れるオイルを見ると、非常にサラサラしているのがわかる。いかにもフリクションが少なそうな感じがした



エンジンを回し気味に走ると、レスポンスが鋭くなっているのが体感できた。アクセルのオンオフにエンジンが気持ちよく反応するのだ



約6000km走行後の純正オイル(右)と新品のニューテック(左)の比較。ニューテックは浸透性がいいため、より紙に染み込んでいるのがわかる

NUTECのことなら任せてください!

COCKPIT21 SETAGAYA

〒157-0073 東京都世田谷区砩1-31-20
☎03-3415-9311(詳細はp.92)